

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	やさしいまなざし 手のぬくもり 心のやすらぎ	○
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	やさしい表情、やさしい目で接し、入居者さんの想いを聞いて受けとめ、入居者さんの事を理解できるように、理念の想いに沿って、そっと背中をさわったり手をにぎったりして安心して頂けるよう理念を共有して日々取り組んでいる。	○ 会議などでスタッフが集まれる時など改めて理念にふれて、日々のケアにいかしていけるよう一層努力していきたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には毎月暦日の様子をお伝えし来荘時にもお話し、地域の方には、機会あるごとに伝える努力し理解してもらえるよう取り組んでいる。	○ これからもより一層取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や外出、買い物などの時隣近所の人に出会った時には元気に挨拶してお話し気軽に寄って頂けるよう努力しています。	○ ご近所との挨拶やコミュニケーションを大切にしお付き合いを深めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ふれあい広場、区内清掃などに参加し買い物も地域の商店を利用したり、一人住まいの高齢者の所へ挨拶しおすそ分けしたり、交流に努めています。	○ より一層努力していきたい。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	利用者さんにぞうきんを縫って頂いて、公民館で 使って頂ける取り組みをしている。近所の高齢者 の様子を伺ったりお裾分けしたりしています。	○	他にも何か出来る事がないかスタッフ会議などで 話し合い、より一層取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	理解し改善していかれるよう努力している。評価 結果をみてもらい会議でも意見を出し合うよう にしている。	○	これからもケアの自己評価をして、より一層努力 していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	2ヵ月ごとの会議で入居者さんの日々の様子やス タッフの状況などを説明して、サービスの向上に いかしています。	○	一層役立てていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	事あるごとに相談に乗ってもらい、研修や災害な どの連絡をして頂きサービスの向上に活かし ています。	○	行政とのコラボレーションを図っていきたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	会議、連絡帳や本で学ぶ機会を持ち話し合いをし て活用出来るよう支援している。	○	関係者などにも応援を求めています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	虐待はないと思うがケアの中で気をつけていくよ う指導して十分注意を払って防止につとめていま す。	○	虐待防止研修も受講し防止に努めていますが今後 も十分に気をつけていきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に説明している。 前施設、病院、家でのフェースシートを送って頂き利用者さんやご家族にいままでのようすを聞き不安や疑問をいって頂けるようしています。</p>	○	<p>今後も一層配慮していきたい。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者さんの個性にもよるが、意見を言わない、言えない方の気持ちを汲み取るように意識していますし、入居者さんに寄り添い、想いを言ってもらえるよう話しをよく聞くようにしています。</p>	○	<p>苦情担当者がいますが、スタッフ全員で聞けるようより一層取り組んでいきます。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>入居者さんの日々の様子を書いて、月の利用料の請求時に一緒に報告しています。</p>	○	<p>継続して取り組んでいきたい。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を設けて、意見、相談、不安な事や疑問など言ってもらえるようにして、運営に反映出来るようにしています。</p>	○	<p>より一層連絡を密にして、反映できるようにしていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>休み時間やスタッフ会議を利用して、職員の意見や提案を聞く機会を作って反映出来るよう努力しています。</p>	○	<p>スタッフ会議を月に一度は開いて、個々に聞ける姿勢で話してもらえるように努力していきたいです。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>施設長と管理者が職員の都合を聞き、常に話し合って努力しています。</p>	○	<p>今後も続けていきたい。</p>

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ダメージはないと思います。</p>	○	<p>影響を観察していく努力をしていきたい。</p>
<p>5. 人材の育成と支援</p>				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>機会あるごとに研修を受けています。</p>	○	<p>職員に講師を出来る人がいるので、法人内の研修も出来るようになり、他の研修にこれからも多く行かれるよう努力していきます。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大屋NPO連絡会との交流を深めています。法人のブログも発信したりして、ホームの事を理解してもらい意見などを言ってもらえるように努力し、サービスの質の向上の取り組みをしています。</p>	○	<p>今後も機会を作り、サービスの質の向上により一層努力していきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>座敷を作って共用の場を確保して、休息の時間を取れるようにしています。</p>	○	<p>スタッフの交流の会を出来るよう計画を立て、交流を深め、気軽に悩みやストレスなどを言い合えるようにしていきたいです。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員と一緒に勤務しているので、十分把握して思いを聞いて向上心を持てるように努めています。より一層努力していきたいです。</p>	○	<p>より一層努力していきたいです。今後もいつも心がけ、課題としても受けめていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学に来られた時、申し込みに来られた時などご本人にお話して、ご本人の事を知る機会を作って受けとめるようにしています。	○	より一層努力していきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の方とも見学、申し込みに来られた時によくお話を聞き、受けとめる努力をしています。	○	より一層努力していきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の状況を把握してどのようなサービスや対応されているか、申し込みに来た時によくお話を聞いて今後の対応の見極めに努めています。	○	今後もその方の想いを見極められるようよく聞く心がけをし、対応に努めていきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	フェースシートなどの情報やご本人、ご家族と対面でお話を聞いた上で体験入所して頂き、馴染んで頂けるよう努力をしています。	○	今後も努力してその方に合った雰囲気作りの工夫をさらに考えるようにしていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	1日中スタッフと過ごして、何でも一緒にするようにして想いを知り喜怒哀楽を共にして、昔のことを教えてもらったり、生活の知恵を聞いたりして日々支えあえるように関係を築いていくようにしています。	○	今後も本人の想いを聞き共有出来るようにし、信頼して頂けるよう努めていきたい。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の様子を月1回もしくは事あるごとに家族へお知らせし、気軽に来ていただけるよう心がけています	○	今後も寄り添って、ご本人の想いを聞きお話しして、想いを共有し支えていける心がけをしていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生会などに来て頂いたり、外出を一緒にして頂いて食事したりする機会を持って、よい関係が出来るように支援しています。	○	今後も継続出来るよう努力していきたいです。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	気軽に来て頂けるよう、来荘された時はお部屋にいて気兼ねなく十分にお話して下さるよう努めています。	○	今後も一層努力していきたいです。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	グループホームなのでみんなで同じことをする事が多く、和気藹々家族のように関わり支え合えるようにしています。	○	これからもより一層支えられるよう気使いや心がけて努力していきます。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	時々、お電話を差し上げたりして近況をお聞きして困った時には相談して下さるようお伝えして関係を大切にしています。	○	これからも大切にしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で表情や状況を見極めて、想いを受けとめて介護計画、ケアプランを見直し本人の想いに沿えるようにしています。	○ 今後も本人の想いを多く聞くようにして受けとめて理解していくように努力していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	フェースシートやご本人、ご家族との対面でのお話の中で、今までの暮らしの事を知りよりよいサービスが出来るように努めています。	○ これからも一人ひとりの把握に努めて、よりよいケアが出来るようにしていきたいです。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェックや食事、排泄や歩行のチェック、お話している時の表情などで心身の状態を把握して申し送り、連絡帳を通してケア会議などで話し合いご本人の現状を把握するようにしています。	○ これからもより一層把握に努めていき、気配りして変化を見逃すことなく心がけていきたいです。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の記録やケアプランのチェックなどをし、申し送り、連絡帳を通してケア会議などで話し合い、介護計画を作成してご本人・ご家族に見てもらい、話し合ってよりよい計画が出来るようにしています。	○ これからもより多く話し合いが出来るようにして、意見やアイデアを反映した介護計画を作成出来るようさらに努力していきたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の状態・状況を申し送り、連絡帳で知らせ、ケア会議などで話し合い見直しを行って、現状に合った介護計画が出来るようにしています。	○ 今後も話し合いの機会をより多く持って、介護計画の期間に応じて見直しをしていくように努力していきたい。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録やケアプランの実行チェック、申し送りや連絡帳で知らせて、情報を共有出来るようにして介護計画の見直しに活かしています。	○	これからも努力していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスに行ったり、近くの公園にお弁当を持って楽しんできたり、近所を散歩したり買い物に行ったりして楽しんで頂ける様になっています。座敷の所で足腰をのばして、マッサージしたり洗濯物をたたんだりしてゆっくりして頂けるようにしています。	○	これからも色々な機能性を考えて、庭やベランダなど利用して柔軟な支援が出来るよう努力していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議や家族会を通して、ご本人の事を知って頂き、ふれあい広場などへ参加して、消防署から来てもらって避難訓練をしたり、協力しながら支援しています。	○	今後もより多く協力して支援出来るよう努力していきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	デイサービスの利用の支援をしています。介護相談員の受け入れをし2ヶ月に1度来て、入居者さんとお話したり、手品をしたり、体操や歌も一緒にして1時間半ほど過ごしていきます。	○	今後も多めに利用したり、支援出来るよう努力していきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターに受け入れの連絡をしていますが、ケアマネジメント的な事は協働出来ないと思います。	○	今後、協働出来るよう努力していきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人に合った医療を受けられるように、受診時には様子を伝え相談したりして、適切な医療を受けられるように支援しています。	○	これからも一層適切な医療を受けられるように支援していきます。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関と連携して、受診時には相談して頂ける関係を築いています。入居者さんには安心して診断や治療を受けて頂いています。	○	これからも協力医療機関との関係を深め、築いて入居者さんに安心して頂ける努力をしていきます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日々バイタルチェック、顔の表情、体の状態を看護師が観察し、申し送りや連絡帳を通して健康に気をつける支援をしています。	○	これからも看護師と連絡を密にし、入居者さんの事を気軽に相談して健康でいられるよう努力していきたいです。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	運営者や職員が面会に行き、状態を把握して、病院やご家族からも様子を聞いて、入退院時に備えています。協力医療機関との協働に心掛けています。	○	より一層努力していきます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療と併設ではないので繰り返し話し合う機会は少ないように思うが、出来るよう心掛けていくようにしています。	○	入居者さんも90才越える方が4人になり、かかりつけ医と話し合い、方針を共有出来る様心掛けていく。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居者さんの健康状態の様子や変化に応じ、受診してかかりつけ医に相談して、家族に連絡して、今後の事を考えるようにしています。	○	今後も努力していきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	ご家族ともよく話し合い、次施設と情報を交換し て十分に話し合いダメージを防ぐ努力をしていま す。	○	これからも継続していきます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	声掛けやお話する時など言葉使いに十分注意し て、入居者さんの誇りやプライバシーを傷つけな いよう、接するようにしています。ケース記録の 中に書く時はイニシャルでするようにしていま す。	○	今後も十分に気をつけていきます。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	日々接する中で、入居者さんの思い、やりたい事 や食べたい物を聞いてそれに添えるようにしてい ます。	○	入居者さんと今後もいろいろより多くお話し て、支援出来るよう努力したいです。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	日々の過ごし方はだいたい決まっています、一人ひ とりのペースに合わせて、希望に沿えるようにし ています。	○	日々接していく中で、より多く向き合える努力を し思いに沿えるようにしてい、これからは、だ んだん暖かくなるので外出や買い物などの機会を 増やしていけるようにしていきたいです。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	服の好みや好む色などを心がけて把握し、ほころ びやボタンがとれていないかをよくみるようにし て、身だしなみやおしゃれが出来るように支援し て、理美容室は近くの所にあります。	○	これからも続けていきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味付け、献立、季節感や郷土食など敏感に行事などで取り入れています。ノロウイルスやインフルエンザなどを懸念してしばらく、準備や片付けを一緒にしていませんでしたが最近一度やりましたら、とても喜ばれていました。	○	これからは大いに一緒にするように心掛けていきます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	常に配慮しています。たばこは施設内外、禁煙となっていますが、お酒は行事・盆・暮・お正月にはたしなむ程度飲まれます。	○	これからも好みのものを楽しめるよう心掛けていきます。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の時間をスタッフ全員がわかるようメモ帳に書き、排泄チェック表にも記入して、排泄のパターンを把握しています。声掛けて行ってもらったり、午睡前後、入浴前、食事前、就寝時には必ず行っていただいています。リハパンを日中布パンツにする支援もしています。	○	これからも続けていきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回と決まっていますがその時々様子で入浴できるようにしています。	○	皆さんお風呂が好きなので毎日でも入れればよいのですが回数が増えるよう努力していきます。温泉にも行く機会を増やしていきたいです。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	午睡、就寝の時、排泄や口腔ケアに気をつけて、おやすみなさいなどの声かけをして気持ちよく休んで頂けるようにしています。寒がる人には、布団乾燥機で暖めたり、寝具の工夫をしています。	○	これからも努力していきます。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物干し、たたみ、掃除、近所へ散歩、外出、レクリエーションや作業、音楽を聴いたり、歌を歌い楽しんで、いきいきと元気に笑顔で過ごせるよう支援しています。	○	今後も一層取り組んでいきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	床屋へ行くときお金を渡せるようにしています。	○	今後他のところでも使えるように、機会を作って支援出来るようにしていきます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩を毎日のようにしています。信濃国分寺へ手作りのお弁当を持って行って、木陰で食べて楽しむことができます。お花見や温泉旅行にも行き、戸外に出かける支援をしています。	○	近くの公園や買い物などに行く機会を増やしていきたいです。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	皆で上田公園、信州音楽村やささらの湯などに行く機会を作っています。	○	これからも多くに出かけられる機会を作っていきたいです。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば自由に電話出来ますし、絵はがきや年賀状を書いて出したり、家族から来たり、電話が来たときなどに出てお話できるようにしています。	○	日々ご本人の想いを聞いて、これからも電話したり手紙を書いてやりとりが出来るようにしていきたいです。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	玄関にかぎをかけていず、気軽に来て頂けるようにしています。ご家族にも一緒に時々食事していただいています。	○	これからも気軽に来て頂けるようにしています。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束しないようにスタッフ全員が理解してケアにとりくんでいます。拘束の禁止の対象となる具体的な行為を理解して、取り組んでいます。	○	会議などで拘束について勉強して、理解できるようにし、拘束をしないようにしていきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、庭への出入り口、窓などには鍵をかけないようにしています。夜間だけ施錠するようにしています。	○	継続していくようにします。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居間、お部屋で過ごしていますが、入居者さんの所在や様子を把握し危険なことはないよう安全に配慮しています。	○	一層配慮していきます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険な物、ご本人に必要なもの以外は保管させて頂いています。たばこ、ライターやマッチなどを持たないようにし、危険を防ぐ取り組みをしています。	○	今後も危険防止に最善の注意を払っていきます。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	見守りし、付き添って介助し、転倒には特に気をつけています。年に一度は避難訓練もしています。一人ひとりの歩行状態も把握するようにしています。	○	これからも転倒や嘔下などには特に気をつけていく配慮を忘れないようにしていきます。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年一度は救急、避難訓練をするようにして、あせらずに初期対応が出来るようにしています。	○	これからも定期的に行えるように、回数も増やしていけるようにしていきます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災訓練を実施しています。隣組にもお話して協力をお願いするよう働きかけています。	○	今後も一層努力していきます。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘


項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	医療の併設がないので、ご家族には機会を見つけては話し合っています。異変があった時にはすぐ連絡を取って話し合いをしています。	○	常に心掛けていきたいです。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	変化に気づけるよう常に気遣い、異変があった時にはすぐ看護師に伝え、ご家族に連絡して速やかに対応出来るようにしています。	○	これからも速やかな対応が出来るようにしていきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のケースにいれ、朝・昼・夕食後と別になっており説明書も常にあり、支援出来るようにして、飲まれた後の確認に心掛けています。	○	これからも一層つとめていきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給、食事にも気をつけて体操・散歩・運動などを行っています。排泄をメモしチェック表で把握出来るようにしています。	○	今後も努力していきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアをして頂き、義歯のみがき、洗浄をして頂けるよう支援しています。歯、入れ歯の様子をチェックして歯医者にも行くようにしています。	○	今後も継続していきたいです。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時、お茶の時の水分量を御椀や湯のみなどで確認出来るようにして、一人ひとりの状態を見極め、献立表で栄養バランスにも心掛けています。	○	今後も十分な心掛けして支援していきたい。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	手洗い、うがい、調理器具の洗浄、施設内の掃除、消毒を徹底しています。	○	今後も十分気をつけていきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所の洗浄、消毒を徹底して、ふきん、食器の洗浄消毒はその都度しています。食品の管理にも特にきをつけて、冷蔵庫の中の確認もして安全な食材の使用に努めています。	○	今後も特に配慮していきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門の間口を広くして風除室も出来上がり、安心して出入り出来るようになっています。	○	施設の前は車の通る道になっているので、これからも危険のないよう心掛けています。事故のないよう十分注意していきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	まわりは民家で物静かであり、窓・戸はサッシでカーテンをかけて配慮しています。居住場所には花や絵を飾り、心地よく過ごせるように工夫しています	○	清潔にも気をつけて、お部屋やリビングは季節に応じた飾りつけなどは今後も力を入れて取り組んでいき、もっと居心地よく過ごして頂ける様に取り組んでいきます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは席が決まっています、隣同士などよく話をされています。和室では洗濯物たたみをしたり、足を伸ばしてマッサージをする事もあります。	○	和室などを多めに利用してくつろいで頂ける様一層工夫していきたいです。

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、ベッドやテレビ・家具・衣装・寝具など使っていた物を持ってきて頂き、安心して生活して頂けるようにしています。</p>	○	<p>色々持ってきて頂き、置くことより危険に気を付けて、殺風景にならないように常に気を付けていきたいです。</p>
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>施設内の換気や消臭に又、消毒には十分配慮しています。</p>	○	<p>今後も十分配慮していきたいです。</p>
<p>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>床はすべりにくいカーペットにしてあり、廊下・階段・浴室やトイレには手すりをつけて安全に自立できるように工夫しています。</p>	○	<p>これからも身体機能を活かせるような工夫をし、努力していきたいです。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>日々接していく中で、一緒に過ごしお話ししたり、レクリエーションなどを通して、食事時、入浴介助、口腔ケアやトイレ介助などでふれあい、作業して一人ひとりの状態を見極めて、自立できるように努力しています。</p>	○	<p>これからも一層努力していきます。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ウッドデッキが出来、洗濯物を干したり、野菜をほしたり出来てベランダが広くなり、時にはお弁当を作って、椅子、テーブルを持って行って外の空気を吸って、楽しく食べたりしました。皆さんとても喜ばれていました。</p>	○	<p>ベランダが広くなって、庭にも出やすくなり、生野菜などの残飯を入れるコンポストを庭に置き、ごみの減量に努め、畑を作って作業をみんなで一緒にして、野菜作りなどをして楽しめるようにしていきたいです。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

認知症高齢者グループホーム梨ノ木荘

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

食に対するこだわりがあります。味噌・醤油は無添加で地元産、野菜は直売所で手に入れています。野菜を沢山取ること。一汁三菜を旨としています。海産物は三陸より直送を主に使っています。常に笑い声、会話の絶えない共感を呼ぶ雰囲気作り、自由に自分の想いを伝えやすい環境作りに心掛けています。